

		講義日程・時間	
		8月 25 日 木 曜日	1～2 限目
1. 授業科目名	ADHDの理解と学校連携		
2. 担当教員名	江上 千代美		
3. 授業の概要	ADHDについて神経心理的観点から理解を深め、障害特性を考慮した支援のあり方を学ぶ。さらに、子どもの行動と心理検査WISC-IVの結果から子どもの理解と効果的な支援について考える機会とする。		
4. 到達目標	ADHDのニード(困り感・つまづき)に対する認識を深め、連携を行いながら対象児童に効果的に対応できる手立てを考える。また、心理検査WISC-IVについて理解し、効果的な支援につなぐことができる。		
5. 授業内容・授業方法等	コマ	授業内容	授業方法
	1	・ADHDの定義 ・ADHDの特徴	講義・演習
	2	・WISC-IVの理解 ・発達障害への支援	講義・演習
6. テキスト・参考文献等	一般社団法人日本LD学会、特別支援教育士資格認定協会:LD・ADHD等の心理的疑似体験プログラム第3版 上野一彦,松田修ら:日本版WISC-IVによる発達障害のアセスメント,日本文化科学社. 坂爪一幸・湯汲英史:知的障害発達障害のある人への合理的配慮、かもがわ出版,2015. 本田恵子:キレやすい子へのソーシャルスキル教育,ほんの森出版,2011. エマ・ウィリアムズ,レベッカ・バーロウ:アンガーコントロールトレーニング,星和書店, 2012.		
7. 成績、評価方法・基準	成績は講義演習の最後の時間内に筆記試験を行い、試験の結果60点以上を合格とする。		
8・特記事項			

		講義日程・時間	
		8月 25 日 木 曜日	3-4 限目
1. 授業科目名	子どもの心の健康課題とその癒しの在り方		
2. 担当教員名	下村 泰斗		
3. 授業の概要	子どもの心の健康課題について、 児童思春期精神科臨床の立場から問題提起し、 その支援のあり方について、 子ども達から学んだことをお伝えできればと考えています。 前半は講義形式、後半はワークショップ形式で行います。		
4. 到達目標	明日から現場で活かせると思うポイントを、 1つでよいので持ち帰っていただけたらと思っています。		
5. 授業内容・授業方法等	コマ	授業内容	授業方法
	1	「今の子どもをとりまく環境と、子どもの傾向とは？」 自尊心が傷つき、自己肯定感の低下した状態で、 精神科を受診する子どもへの支援から・・・ 「自己選択・自己決定の必要性について」 「子どもたちが自立した大人に育てるには？」 「子どもたちが前向きに生きて行くには？」 「子どもの支援に行き詰ったときどうすればよいか？」 みなさんと一緒に考えたいと思います。	講義形式 パワーポイント使用 配布資料はありません。
	2	ミュージック・ケア(加賀谷式音楽療法)を実際に体験します。 「人は一人では生きていない」 という心を大事にしているこのメソッドでは、 対象者との関わりにおいて、 「ケアされあう関係」(対等な相互関係) 「自己選択・自己決定」(したくない気持ちも尊重する) 「待ちと蓄え」(相手に寄り添う)を大事にしています。 体験を通して、前半の講義の内容を実感して頂けたらと思います。	ワークショップ形式 音楽療法の体験
6. テキスト・参考文献等	特になし		
7. 成績、評価方法・基準	未定		
8・特記事項	動きやすい服装でご参加ください。		